

## タイ 日本向けマンゴスチンの蒸熱処理が免除に

The Star 2023年8月7日

バンコク(The Nation/Asia News Network): タイ政府の農産物食品基準所長は月曜日(8月7日)、タイから日本へのマンゴスチンの輸入における蒸熱処理の免除が発効したと述べた。

同局のピサン・ポンサピッチ事務局長は、日タイ経済連携協定(JTEPA)の下で承認された免除が月曜日の日本の**官報**に掲載されたと述べた。

同氏は、蒸熱処理しない果実の日本への輸出が今月中に開始できるよう、最初のロットは今月の第3週に日本の検疫官によって検査・認証されると述べ、また、この処理の免除により、タイのマンゴスチン輸出業者がコストを削減し、果実の鮮度をより長く保つことができるようになるだろうと述べた。

同氏はさらに、蒸熱処理の免除により、タイはマンゴスチンの日本への輸出を年間約200トン、すなわち1億2千万バーツ(約4億9千万円)増やすことができると述べた。

日本はこれまで、ミバエを排除するために、タイ産マンゴスチンにコストの高い蒸熱処理を要求していた。

同氏によると、日本政府は、ミバエ管理の効率性を日本に納得させるためのタイ政府の交渉と努力を受けて、要件を解除することに同意した。

交渉プロセスは、JTEPAのメカニズムを使って2019年から続いていた。

同氏は、タイ農業省によって登録・認定された果樹園のマンゴスチンだけが蒸熱処理を免除されると述べた。

## フィリピン バナナのパナマ病封じ込めの努力が進行中

BusinessWorld 2023年8月7日

植物産業局(BPI)は、バナナ産業でパナマ病としても知られるフザリウム菌による萎凋病を封じ込めるための取り組みを強化している。同局のジェラルドグレン F. パンガニバン局長は先週記者団に対し、「病害虫に負ければ、どのように生産しても意味がないので、我々は最大限の管理に注力している」と語った。

フザリウムによる萎凋病は土壌媒介性の真菌が引き起こす病気であり、バナナの植物体の維管束を遮断し、ミネラル、栄養素、水分を奪う。感染した植物は黄変して枯死する。

この病気のトロピカルレース4(TR4)株は、2009年にダバオ市で最初に検出され、主要な輸出品種であるキャベンディッシュバナナを脅かし続けている。

同局長は、「我々はフィリピン宇宙機関と提携して、被害の範囲を実際に知るためのプロジェクトに着手している」と述べた。

国連食糧農業機関(FAO)は、そのバナナ市場報告書で、フィリピンは2022年に224万トンのバナナを輸出し、これは前年比で6.21%の減少であったとしている。

フィリピンはエクアドルに次ぐ世界第2のバナナ輸出国である。

FAOは、「フィリピンは引き続きこの地域の主要バナナ輸出国であり、平均してアジアのバナナ輸出量の約60%を供給しているが、国内での投入資材や肥料の高コストのほかTR4の蔓延によってその生産が深刻な影響を受けている」としている。

執筆者: シェルディーン・ジョイ・タラベラ